

6 生化学・免疫統合型システムについて ～cobas8000 のご紹介～

ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社
関東支店
岩橋 伸剛

2014年7月14日に cobas8000 シリーズの生化学・免疫統合型システムがデビューしました。cobas8000 は 2010 年末に免疫装置 e602 の専用装置として発売し、現在、全国で 200 モジュールが稼動しております。このたび、あらたに生化学モジュール c702、c502 を発売することにより、統合型のシステムとして再デビューしました。



cobas8000 の特徴は、『3 つの H』・・・『High Quality』『High Speed』『High Efficiency』です。

High Quality

⇒これまでの生化学検査にはなかった、専用試薬を用いるシステムによって、データのバリデーションを担保し、ロシュからの一元的なサポートをご提供することによりデータの質を向上に貢献いたします。

High Speed

⇒高い処理能力の生化学モジュールと、最短 9 分測定の免疫モジュール、そしてラックを遅延させない構造のインテリジェントラック搬送により診療前検査や迅速測定にお役立ていただくことで診療貢献につながります。

High Efficiency

⇒3 つのモジュールにより 29 通りの組み合わせから、ご施設の状況－検体数、項目数、項目の種類に応じて、最適な組み合わせをお選びいただけます。生化学・免疫合わせて約 140 項目、そして、一元的に生化学と免疫の検体を運用できる点から、業務の効率化を実現します。

本ランチョンセミナーでは、この統合型システムの詳細をご紹介します。